

# 若手職員 座談会



## 厚生局に決めた理由は？

**司 会:** 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日は皆さんに、厚生局への就職活動を経て感じたことや、働いてみての印象など、色々お聞かせいただきたいと思います。はじめに、皆さんが厚生局に就職を決めた理由についてお聞かせください。

**職員A:** 厚生行政に興味があり、かつ地元である東北で働きたいと考えていたからです。

**職員B:** 医療や年金、福祉、介護など、国民の生活を支える業務ができるということに魅力を感じたことと、説明会に参加した際に職員の方々の温かい雰囲気になれ、就職を決めました。

**職員C:** 医療・年金・福祉の分野に興味を持ったことももちろんですが、最終的には説明会等の雰囲気が良かったことが決め手になりました。

**職員D:** 公務員の中でも年金や医療の制度を支える仕事がしたいと思い、業務説明会に参加した際にも、職員の方々の雰囲気が自分に合っていると感じたからです。

**職員E:** 国民の生活に身近に関わることができる業務が多いところに魅力を感じたからです。

## 採用面接について

**司 会:** 採用面接はどうでしたか？緊張しましたか？

**職員C:** 非常に緊張しましたが、こちらのことを知ろうとしてくださっているのが伝わり、自分の言葉で話すことができました。

**職員B:** 採用面接はとても緊張しました。自分が覚えてきたことを話すことも重要ですが、自分の思いや姿勢を面接官に伝えることがより重要であると感じました。

**職員A:** 緊張しましたが、話したいことは何度も練習してスムーズ

に話せた気がするのでよかったです。

**職員D:** とても緊張しました。面接官は厳しい目で審査しているのではなく、ただ皆さんのことを知りたくて質問しているだけだと考えれば、リラックスできると思います。

**職員E:** 私もとても緊張しましたが、面接官の方々が笑顔で優しく質問してくださったのでリラックスできました。

## 採用前に不安に感じたことは？

**司 会:** 採用前に不安に感じたことがあればお聞かせください。

**職員B:** まず社会人になれるかどうか不安に思っており、さらに医療や年金に関しての知識がなかったため、しっかり覚えて業務を遂行できるかどうか不安でした。今は上司や先輩方にご指導いただき、少しずつではありますが業務を覚えていっています。

**職員C:** 全く知識のない分野だったので、業務をこなせるか心配でした。まだ慣れない点多々ありますが、親身に教えてくださるので、たくさん吸収し学んでいるところです。

**職員E:** 業務をこなせるか不安でしたが、パソコンの知識や仕事のやり方など周りの方が丁寧に教えてくださり、質問もしやすいためとても働きやすい環境だと感じています。

**職員D:** 業務に対する知識が無いことが不安でしたが、先輩職員の皆さんが丁寧に教えてくれます。

**職員A:** 朝方に就寝するような生活をしていたので、生活リズム

### 参考 総務担当より

#### 採用日までのスケジュール(4月採用の例)

10月	内定式
1～2月	採用時に必要な書類等を郵送
3月上旬	配属先について連絡
4月1日	採用



が戻るか不安でした。入局後は早めに就寝することを心がけるようになり、生活リズムも健康的になってよかったです。

## 残業は多いですか？

司 会：毎日忙しいですか？残業は多いですか？

職員B：まだ残業はしたことがありません。定時になると先輩方が声をかけてくださいます。

職員D：今のところ残業はしていません。

職員A：今のところはほとんどないです。

職員E：定時で退勤することが多いです。残業しているときも上司に早く帰るんだよと声をかけられることが多いです。

職員C：やむを得ず残業することもあります。基本的には定時で帰ることができています。また、声かけもしていただいています。

## 皆さんの職場の雰囲気はどうですか？

司 会：皆さんの所属している職場の雰囲気はいかがですか？

職員A：働きやすいと思います。優しく、優秀な先輩方が多く、いい雰囲気です。

職員C：とても温かく、和やかな雰囲気だと思います。仕事の中でも、ささいな質問や確認事項を相談しやすいです。

職員D：忙しい中でもその都度、声をかけていただいているので、オープンな雰囲気だと感じています。

職員B：気にかけてくれる上司や先輩方が多く、質問や相談がしやすい環境であると感じています。

職員E：質問などに皆さん丁寧に対応してくださったり、時々世間話も楽しくお話ししたりととても和やかな雰囲気だと感じています。

## 帰宅後の過ごし方は？

司 会：仕事が終わってからの過ごし方を教えてください。

職員B：今は定時に帰れているので、帰宅後は夜ご飯を食べて、ドラマや映画を見たり、友人と食事や映画に行ったりしています。

職員A：一人の時間を堪能しています。

職員D：夕食などを終えた後は、趣味の時間を楽しみ、その日のうちに寝るようにしています。

職員C：自炊をしながら、趣味に費やす時間も確保できています。

職員E：帰宅後はお風呂に入ってご飯を食べて、テレビでアニメを見えています。

## 年次休暇は取得できていますか？

司 会：皆さん、年次休暇は取れていますか？

職員B：取得することができています。月に1回以上休暇を取るよう声をかけていただいています。

職員D：取得する予定です。年次休暇に関しても、取得する旨の声かけは常にしてくださるので、休みやすい雰囲気だと思っています。

職員C：上司からも休暇の取得を促されますし、実際に月1日以上のペースでお休みをもらえています。

職員A：まだ取得していませんが、月一以上の取得をしっかりと推奨してくれており、有給は使いやすい環境だと思います。

職員E：必ず月に一回年次休暇を取得するよう強く促されています。GWの際にはなるべく長い連休が取れるようにと声をかけられています。

### 参考 総務担当より

東北厚生局では、月に1日以上  
の年次休暇の取得を推進しています。



## 採用後のキャリアパス

本人の意向、能力、実績に加えて、育児や介護等の事情に配慮しながら、概ね2～3年のローテーションによる人事異動があります。

新規採用後、いくつかの部署を経て係長級となり、担当業務を遂行しながら部下に対する指導・育成も行います。その後は課長補佐級として、課の予算・勤務時間の管理や対外調整など業務の中核を担います。その後も様々な経験を経て、課長等へ昇進していきます。

また、幅広い業務を経験できるよう、厚生労働省本省や自治体、国立病院機構等との人事交流も行っています。



※あくまで一例であり、勤務成績や能力・適性により異なります。